



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社ヒガシマル

コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 東 紘一郎

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 上野 善博

TEL 099-273-3859

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	7,226	3.1	285	△21.4	280	△34.0	88	△56.6
22年3月期第3四半期	7,006	△9.5	363	△5.5	425	△5.8	203	6.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	18.77	—
22年3月期第3四半期	43.26	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	10,194	4,140	40.6	880.08
22年3月期	8,744	4,281	49.0	909.91

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 4,140百万円 22年3月期 4,281百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,774	7.1	149	△24.1	168	△31.5	46	△45.3	9.95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]4ページ、「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 4,746,000株 22年3月期 4,746,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 40,842株 22年3月期 40,842株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 4,705,158株 22年3月期3Q 4,705,185株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]3ページ、「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
【第3四半期連結累計期間】	7
【第3四半期連結会計期間】	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済の主な牽引役であった中国経済にも夏ごろから陰りが見え始め、世界経済は緩やかに減速しており、エコカー補助金の終了など景気対策効果も徐々に剥落し、円高と相俟って景気の回復ペースが弱まり、デフレが続いております。

このような状況のなか、当社グループは、環境対策とコスト削減を目的に省エネ設備への更新や生産及び販売コストの削減を継続するとともに商品の品質改良、新商品及び低価格化商品の開発に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、72億26百万円となりました。水産事業は、受託生産の魚類飼料が減少したものの、国内及び海外ともにエビ飼料が好調に推移し、食品事業は、デフレによる価格競争で即席麺が振るわなかったことなどにより、前年同四半期と比べ2億19百万円(3.1%)の増収となりました。

営業利益は、2億85百万円となりました。原材料及び資材等の価格が上昇したことにより、前年同四半期と比べ77百万円(△21.4%)の減益となりました。

経常利益は、2億80百万円となりました。物品売却益は増加しましたが、円高とベトナムドン安の影響により為替差損が増加し、前年同四半期と比べ1億44百万円(△34.0%)の減益となりました。

四半期純利益は、88百万円となりました。第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針(企業会計基準適用指針第21号)」を適用したことに伴い、特別損失に資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額12百万円を計上したことなどにより、前年同四半期と比べ1億15百万円(△56.6%)の減益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、成育が旺盛になる夏から初冬にかけて逡増し、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春にかけて逡減する季節的変動があります。したがって、当第3四半期連結会計期間の売上高は、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間と比べ高くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①水産事業

水産事業におきましては、魚類飼料はOEM商品の受注が減少したものの、エビ飼料はOEM商品の受注が増加し、国内及び海外ともにエビ飼料が好調に推移したことにより、売上高は60億75百万円となりました。原材料及び資材等の価格が上昇し、物品売却益は増加したものの、為替差損も増加したことにより、セグメント利益は4億9百万円となりました。

#### ②食品事業

食品事業におきましては、9月から新商品「カップ皿うどん」を発売し、皿うどんや棒状ラーメンは伸びましたが、冷夏によってそうめんなどの夏季商材が振るわず、即席麺などは低価格競争の影響で低調であったことから、売上高は11億50百万円、セグメント利益は65百万円となりました。

**(2) 連結財政状態に関する定性的情報**

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて14億49百万円増加し、101億94百万円となりました。これは、主として養殖魚等の成育過程に応じ、夏から初冬にかけての配合飼料の需要が逡増する季節的要因により受取手形及び売掛金が12億29百万円、原材料及び貯蔵品が3億47百万円、投資その他の資産が87百万円増加し、減価償却により有形固定資産が1億50百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて15億89百万円増加し、60億53百万円となりました。これは、主として配合飼料の生産量が逡増する季節的要因により買掛金が4億1百万円、運転資金等の調達により短期借入金が2億98百万円、長期借入金が4億56百万円、為替予約等を含むその他負債が4億45百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて1億40百万円減少し、41億40百万円となりました。これは、主として繰延ヘッジ損益が1億98百万円減少したことなどによるものであります。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

今後の見通しにつきましては、当社グループの事業に係るリスクの発生、経営上の重要な契約等の締結、その他当社グループの将来の業績に影響を与える可能性のある事象が発生した場合は、業績予想を見直す可能性があります。

今後も新商品の開発及び新たな養殖対象魚種の飼育研究により、当社グループの業績拡大を目指してまいります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、税金等調整前四半期純利益が12,645千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額も同額であります。

#### 2. 表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,388,588	1,401,050
受取手形及び売掛金	2,330,206	1,100,279
有価証券	—	170,000
商品及び製品	408,366	338,235
仕掛品	30,117	43,271
原材料及び貯蔵品	1,064,975	717,040
その他	199,969	130,507
貸倒引当金	△845	△530
流動資産合計	5,421,378	3,899,855
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,073,010	1,125,771
機械装置及び運搬具（純額）	903,206	887,770
土地	1,746,746	1,746,746
その他（純額）	39,833	152,534
有形固定資産合計	3,762,797	3,912,822
無形固定資産		
投資その他の資産	91,255	100,629
投資その他の資産	926,554	839,224
貸倒引当金	△7,547	△7,547
投資その他の資産合計	919,007	831,677
固定資産合計	4,773,060	4,845,129
資産合計	10,194,438	8,744,984

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	971,903	570,342
短期借入金	2,886,452	2,588,062
未払法人税等	95,000	77,300
賞与引当金	43,064	83,702
その他	473,727	271,432
流動負債合計	4,470,148	3,590,841
固定負債		
長期借入金	520,000	63,100
役員退職慰労引当金	475,205	464,435
その他	588,167	345,345
固定負債合計	1,583,372	872,880
負債合計	6,053,521	4,463,721
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,499,928	3,453,972
自己株式	△28,938	△28,938
株主資本合計	4,533,289	4,487,333
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,777	18,741
繰延ヘッジ損益	△355,540	△156,920
為替換算調整勘定	△47,608	△67,891
評価・換算差額等合計	△392,372	△206,071
純資産合計	4,140,917	4,281,262
負債純資産合計	10,194,438	8,744,984



(2) 四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	7,006,957	7,226,658
売上原価	5,733,913	6,009,254
売上総利益	1,273,044	1,217,404
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	282,111	286,109
貸倒引当金繰入額	85	315
給料及び賞与	209,336	211,477
賞与引当金繰入額	14,852	16,219
役員退職慰勞引当金繰入額	4,455	10,770
のれん償却額	677	—
その他	398,449	407,016
販売費及び一般管理費合計	909,968	931,909
営業利益	363,075	285,495
営業外収益		
受取利息	2,213	2,302
受取配当金	2,771	3,719
為替差益	31,611	—
物品売却益	32,410	56,540
受取保険金	—	7,682
雑収入	17,463	14,331
営業外収益合計	86,470	84,576
営業外費用		
支払利息	19,559	20,031
為替差損	—	65,835
雑損失	4,693	3,578
営業外費用合計	24,252	89,444
経常利益	425,292	280,627
特別利益		
賞与引当金戻入額	17,453	—
固定資産売却益	80	—
受取補償金	1,705	—
特別利益合計	19,239	—
特別損失		
固定資産売却損	232	—
固定資産除却損	397	424
投資有価証券評価損	294	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,645
特別損失合計	924	13,069
税金等調整前四半期純利益	443,607	267,558
法人税、住民税及び事業税	209,180	167,712
法人税等調整額	14,614	11,543
過年度法人税等	16,248	—
法人税等合計	240,043	179,256
少数株主損益調整前四半期純利益	—	88,302
四半期純利益	203,564	88,302

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	2,546,984	2,655,261
売上原価	2,011,470	2,206,328
売上総利益	535,514	448,932
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	105,781	101,755
貸倒引当金繰入額	—	177
給料及び賞与	59,284	59,543
賞与引当金繰入額	14,852	16,219
役員退職慰労引当金繰入額	1,485	3,590
その他	126,884	138,526
販売費及び一般管理費合計	308,288	319,813
営業利益	227,225	129,119
営業外収益		
受取利息	1,063	522
受取配当金	1,253	1,660
物品売却益	17,126	30,529
受取保険金	—	343
雑収入	11,046	6,643
営業外収益合計	30,489	39,699
営業外費用		
支払利息	6,529	5,899
為替差損	32,179	56,544
雑損失	—	1,137
営業外費用合計	38,709	63,581
経常利益	219,006	105,237
特別利益		
賞与引当金戻入額	6,944	—
固定資産売却益	70	—
受取補償金	1,705	—
特別利益合計	8,719	—
特別損失		
固定資産除却損	138	—
投資有価証券売却損	294	—
特別損失合計	432	—
税金等調整前四半期純利益	227,293	105,237
法人税、住民税及び事業税	106,301	63,479
法人税等調整額	9,541	5,337
過年度法人税等	16,248	—
法人税等合計	132,091	68,816
少数株主損益調整前四半期純利益	—	36,420
四半期純利益	95,201	36,420

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	443,607	267,558
減価償却費	241,292	251,280
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,645
のれん償却額	677	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△38,488	△40,603
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,455	10,770
固定資産除売却損益 (△は益)	549	424
受取利息及び受取配当金	△4,985	△6,022
支払利息	19,559	20,031
為替差損益 (△は益)	△10,780	3,586
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,164,504	△1,232,850
たな卸資産の増減額 (△は増加)	283,394	△409,882
仕入債務の増減額 (△は減少)	463,776	402,162
その他	△53,470	67,768
小計	185,082	△653,131
利息及び配当金の受取額	6,662	7,955
利息の支払額	△18,097	△20,717
法人税等の支払額	△225,419	△147,773
その他の収入	1,705	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△50,067	△813,667
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△938,090	△1,336,555
定期預金の払戻による収入	736,000	1,286,448
有価証券の償還による収入	—	170,000
有形固定資産の取得による支出	△234,718	△110,553
その他	△9,683	△17,828
投資活動によるキャッシュ・フロー	△446,491	△8,488
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額 (△は減少)	850,564	252,379
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△93,662	△40,020
配当金の支払額	△42,346	△42,346
自己株式の増減額 (△は増加)	△20	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	714,535	770,013
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,010	△10,426
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	227,986	△62,568
現金及び現金同等物の期首残高	458,108	482,937
現金及び現金同等物の四半期末残高	686,094	420,368

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	水産事業 (千円)	食品事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	5,802,736	1,204,221	7,006,957	—	7,006,957
営業利益	424,604	82,534	507,138	(144,062)	363,075

(注) 1 事業区分は、製造方法、市場及び販売方法の類似性を勘案して区分しております。

2 各事業の主な製品は次のとおりであります。

(1) 水産事業 ……エビ飼料類、ハマチ飼料類、その他飼料類

(2) 食品事業 ……即席麺類、乾麺・つゆ類、その他麺類

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計額に占める日本の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の事業のうち独立した財務情報を入手することができ、取締役会や経営政策会議などにおいて、経営の意思決定の際に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービスの種類別に事業体系を構築しており、各事業別に製造計画及び販売戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は製品・サービスの種類別セグメントから構成されており、「水産事業」及び「食品事業」の2つを報告セグメントとしております。

「水産事業」は、エビ飼料類、ハマチ飼料類、その他飼料類の製造販売を行っており、「食品事業」は、即席麺類、乾麺・つゆ類、その他麺類の製造販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	6,075,981	1,150,677	7,226,658	—	7,226,658
セグメント利益	409,625	65,185	474,811	△194,183	280,627

(注) 1 セグメント利益の調整額△194,183千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費151,639千円、営業外収益5,195千円、営業外費用47,740千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。